

コロンビア月例報告（10月分）

経済情勢

2012年11月

在コロンビア日本大使館

I 概要

- 3日、世銀は、ボゴタ市メトロ建設プロジェクトの詳細設計調査費用にかかる800億ペソの融資を承認した。
- 4日、カルデナス財務相は税制改革法案を国会に提出した。主に法人所得税、個人所得税、付加価値税（IVA）、消費税、臨時利益税の改革が行われる予定。
- 17日、「エル・ドラド」国際空港の国際ターミナルの完成式典が行われた。同ターミナルの利用客は年間2200万人に達する見込みであり、2013年11月頃には、空港まで直結するトランスミレニオが完成する予定。
- 世銀が毎年行っているビジネス環境調査「Doing Business 2013」によれば、コロンビアは総合評価で世界第45位（去年は第42位）で、中南米ではチリ、ペルーに次いで第3位となった。

II 主な出来事

<国内情勢>

（1）経済見通し：国際通貨基金（IMF）（8日）

東京で開催された IMF 総会では、欧州経済危機が引き続き世界経済の脅威となっていることから、本年の世界の成長率見通しを+3.5%から+3.3%に、また来年2013年の見通しを+3.9%から+3.6%に下方修正した。コロンビアの成長率見通しに関しては、本年が+4.3%、2013年は+4.4%とした。

（2）県別実質 GDP 成長率（以下、成長率）：（11日、国家統計庁（DANE）発表）

2011年のコロンビア国内の成長率は前年比5.9%であったが、主要石油生産地であるメタ県は、同19.7%を記録し、県別で首位となった。また、2位のカサナレ県（同15.1%）も同様に、石油生産で高い成長率を示した他、3位のセサル県（10.8%）は石炭、4位のチョコ県（7.7%）は金の生産と、石油・鉱山エネルギー資源が各地の成長率を押し上げる結果となった。

（3）経済政策

（ア）税制改革法案（4日）

カルデナス財務相は税制改革法案を国会に提出した。主な法案の内容は、①法人所得税：現行の33%から25%へ引下げ、8%の公平税を導入 ②個人所得税：高所得層に対する税率の引上げ ③付加価値税（IVA）：現行の7段階の付加価値税（0%、1.6%、10%、16%、20%、25%、35%）から、3段階（0%、5%、16%）への簡略化 ④消費税：レストラン・サービスはIVAの対象外とし、一律7%の消費税の課税。その他、贅沢品を対象に奢侈税の導入 ⑤臨

時利益税：脱税防止のために現行の33%から10%に減税。

(イ) 2013年予算(17日)

2013年予算案が国会で可決承認された。2013年予算総額は前年比で12.2%増の185.5兆ペソ(約1045.1億ドル)となる。

(4) インフラ

(ア) ボゴタ市メトロ建設プロジェクト(3日)

世銀は、ボゴタ市メトロ建設プロジェクトの詳細設計調査費用にかかる800億ペソの融資を承認した。調査はスペイン系のEuroestudios社が行い、約15ヶ月を要し、2018年にはメトロが開通する見込み。

(イ) リネア・トンネル建設計画(9日、当地紙報道)

2013年9月15日に開通予定だったリネア・トンネルは、通風ダクトや照明機材の調達に遅れが生じているため、INVIAS(国家道路機構)による入札や機材設置に少なくとも1年は要する。また、トンネルへ接続する道路工事も着工していない。

(ウ) バランカベルメハ製油所近代化プロジェクト(12日、当地紙報道)

総額34億ドルのバランカベルメハ製油所近代化プロジェクトに、21の外国企業が関心を寄せている。うち、8月に同製油所の視察を行ったのは、韓国のSK社、日本の東洋エンジニアリング(三井物産と提携)、及びイタリア・コロンビア・韓国のコンソーシアムであるTechnip-Tipiel-GSの3社。2013年2月に入札締切、同年6月に落札企業が決定し、第4四半期には工事開始となる見込み。同製油所は2016年4月以降に稼働し始め、国内最大規模となる。

(エ) 「エル・ドラド」国際空港(17日)

「エル・ドラド」国際空港の国際ターミナルの完成式典が行われ、サントス大統領が出席した。総工費は7億6千万ドル。同ターミナルの利用客は年間2200万人に達する見込みで、2013年11月頃には、空港まで直結するトランスミレニオが完成する予定。

(5) 企業動向

(ア) HELM銀行買収(10日)

昨年12月に、当国のスペイン系銀行「Banco de Santander」を買収した「CORPBANCA」(チリ資本)は、9日、国内の「HELM銀行」を12.79億ドルで買収する旨発表した。今般の買収により、「CORPBANCA」の資産高は21.2兆ペソに達し、国内第6位の規模の銀行となる。

(イ) Carrefour買収(19日)

チリ資本の大手スーパーチェーンであるCencosud社は、コロンビア国内の9都市に93店舗(73大型店舗及び20小型店舗)を有するCarrefourを、20億ユーロで買収すると発表した。来年の第2四半期までには、全店舗が「JUMBO」として生まれ変わる。

(6) その他

(ア) 米州開発銀行(IDB)融資(3日)

IDBは、コロンビア農村地域の飲料水供給と排水管理改善に6000万ドルを融資する計画。また、IDB日本基金とAquaFundは、貧困是正のためのパイロット・プロジェクトに21億ドルを融資する。

(イ) 「コロンビア・ラウンド2012(探鉱・開発入札)」(17日)

国家炭化水素庁（ANH）は、115の石油鉱区に応札のあった企業は37社であったと発表した。これにより26.31億ドルの投資が見込まれる。落札企業は11月26日に公表される。

（ウ）世銀ビジネス環境調査（23日、当地紙報道）

世銀が毎年行っているビジネス環境調査「Doing Business 2013」によれば、コロンビアは総合評価で世界第45位（去年は第42位）で、中南米ではチリ、ペルーに次いで第3位となった。

（エ）エネルギー企業ランキング（25日、当地紙報道）

世界のエネルギー企業ランキング（プラッツ社）が発表され、コロンビア国営石油会社エコペトルは第14位を記録した。前年の25位から大きく前進し、ブラジルのペトロbras社を抜く結果となった。

<対外経済関係>

（1）対コスタリカ FTA（27日、当地紙報道）

22～25日、コロンビア・コスタリカ FTA 第3回会合がカリ市にて開催され、22章中18章の協議を終えた。ディアス・グラナドス商工観光相によれば、両国の交渉チームは、来年1月にコスタリカにて開催される予定の第4回会合にて、同 FTA の交渉を終了させたい考え。

（2）対パナマ FTA（29日、当地紙報道）

コロンビア・パナマ FTA 交渉は約2年間交渉が中断している。両国が合意に至っていない分野は、農産品、農産加工品、及び工業製品のパナマへの市場アクセス、原産地規則、及び、税関手続である。

（3）対トルコ FTA（29日、当地紙報道）

2011年5月から交渉を開始したコロンビア・トルコ FTA 交渉では、果物、野菜、乳製品に関する項目をコロンビア側が受け入れられなかった他、繊維産業や縫製産業、製鉄業、金属機械産業、自動車産業及び自動車部品産業でトルコの産業と競合する恐れがあり、交渉が2ヶ月前から頓挫したままとなっている。

（4）対ベネズエラ関係（18日）

ディアス - グラナドス商工観光相は、ベネズエラとの特惠関税協定の部分協定（APP）が発効したと発表した。

（5）対チリ関係（20日、当地紙報道）

第1四半期の海外直接投資（FDI）は、石油部門を除くと、チリから3.87億ドルと最大で、前年同期比で+69.7%の伸びを示した。また、最近のチリからの投資は、Carrefour、Santander 銀行、Helm 銀行、Aires 航空会社の買収に代表されるように増加傾向にあり、ここ2年間の同国からの投資額は70億ドル以上に及ぶ。

（6）対アジア関係

（ア）対日関係（12日）

東京で開催されていた2012年国際フラワーEXPO（IFEX）が閉幕した。25企業が参加したコロンビアのパビリオンは236㎡を占め、同展示会最大規模であった。

（イ）対中関係（2日）

(i) ボゴタで開催されている経済・貿易合同委員会第8回会合に、陳徳銘(Chen Deming) 中国商務部部長とディアス・グラナドス商工観光相が出席し、両国間の公平な貿易を行うための貿易救済措置に関する覚書に署名した他、コロンビア・中国 FTA の実行可能性を調査するための研究を開始することで合意した。また、陳中国商務部部長は、4日、中国の企業家ミッションが11月にもコロンビアを訪問予定だと発表した。

(ii) 国営石油会社エコペトルは、コロンビアの石油・天然ガス開発のため、中国最大の CNPC (中国石油集団) と3年間の協力関係を結ぶことで、合意を交わした。

(7) その他 (10日, 当地紙報道)

18日, 19日にボゴタで開催されていた, FEALAC (アジア中南米協力フォーラム) ビジネス会合には, 36ヶ国の代表及び200社近い企業からの参加があった。

<経済指標>

(1) 経済活動全般

(ア) 実質工業生産指数 (DANE 発表)

8月の実質工業生産指数(コーヒー豆加工を除く)は前年同月比-1.9%であった。48項目のうち26項目で減少が見られた。

(イ) 実質小売売上高指数 (DANE 発表)

8月の実質小売売上高指数は前年同月比+1.2%であった。家庭用情報機器が同+23.4%と高い伸びを示した。

(ウ) 消費者信頼感指数 (Fedesarrollo 発表)

9月の消費者信頼感指数 (ICC) は25.0%と前月(18.1%)を6.9%ポイント上回り、前年同月比でも、1.9%ポイント上回った。

(2) 産業動向

(ア) 原油生産量 (鉱山・エネルギー省発表)

9月の原油生産量は日量95.3万バレルであり、前年同月比で6.94%増加した。

(イ) コーヒー

(i) 生産 (コーヒー生産者連合会 (FNC) 発表)

FNC加盟コーヒー生産者による9月のコーヒー生産量は、51.9万袋(1袋=60kg)となり、前年同月比で+13%であった。

(ii) 価格 (国際コーヒー機関発表)

9月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均1ポンド=1.90ドル(前月は同1.88ドル、前年同月は同2.88ドル)であった。

(ウ) 新車販売 (5日, 当地紙報道)

9月の新車販売台数は22,492台と、前年同月比で22.1%減少した。また、1月から9月までの新車販売台数累計は235,090台と、前年同期比で-3%であった。

(3) 物価・雇用 (DANE 発表)

(ア) 物価

9月の消費者物価上昇率は+3.08%(前年同月比, 以下同)と、前月の+3.11%より僅かに減少した。また、9月の生産者物価上昇率は+0.11%であった。

(イ) 雇用

9月の全国平均失業率は9.9%と、前年同月の9.7%から0.2%ポイント悪化し、主要13都市の平均失業率も前年同月の10.2%から10.7%と0.2%悪化した。

(4) 政策金利 (26日)

中銀は、政策決定会合にて、2ヶ月連続で政策金利を4.75%に据え置くことを決定した。

(5) 対外債務 (中銀発表)

6月末の対外債務総額は762.55億ドルと、前年同月比で73.78億ドル(+10.71%)増加した。内訳は440.96億ドルが公的債務で、321.59億ドルが民間債務となっている。

(6) 貿易収支 (DANE 発表)

8月の貿易収支 (FOB) は、3.05億ドルの赤字であり、1~8月の累計貿易黒字は26.40億ドルとなった。輸出 (FOB) 全体では、前年同月比-7.6%の45.89億ドル、輸入 (CIF) 全体では、前年同月比+8.6%の51.65億ドルとなった。

(了)

Ⅲ 主な経済指標

(1) 経済活動指数 (単位：％，出所：DANE)	11/8	12/6	12/7	12/8
(ア) 実質工業生産指数 (前年同月比)	9.7	2.8	1.5	-1.9
(イ) 実質工業売上高指数 (同)	9.6	2.4	0.6	-0.2
(ウ) 実質小売売上高指数 (同)	8.8	4.0	1.3	1.2
(エ) 新規建設着工承認面積 (単位：万㎡)	184.8	192.1	189.1	180.3
(2) 失業率 (単位：％，出所：DANE)	11/9	12/7	12/8	12/9
(ア) 全国平均	9.7	10.9	9.7	9.9
(イ) 主要13都市平均	10.2	11.5	10.5	10.7
(3) 消費者物価上昇率 (単位：％，出所：DANE)	11/9	12/7	12/8	12/9
(ア) 前月比	0.31	-0.02	0.04	0.29
(イ) 前年同月比	3.73	3.03	3.11	3.08
(4) 政策金利 (単位：％，出所：中央銀行)	11/10	12/8	12/9	12/10
	4.50	4.75	4.75	4.75
(5) 為替 (対ドル為替レート) (単位：ペソ，出所：中央銀行)	11/10	12/8	12/9	12/10
(ア) 月初	1,929.01	1,790.74	1,825.21	1,800.52
(イ) 月末	1,863.06	1,830.50	1,800.52	1,829.89
(ウ) 最高値	1,862.84	1,833.14	1,825.21	1,830.45
(エ) 最安値	1,972.76	1,785.29	1,789.54	1,795.40
(6) 株式指数IGBC (単位：ポイント，出所：「コ」証券取引所)	11/10	12/8	12/9	12/10
(ア) 月初	12,518.78	13,673.38	14,099.05	14,101.17
(イ) 月末	13,322.53	14,088.52	14,056.60	14,781.24
(ウ) 最高値	13,603.34	14,303.24	14,495.57	15,142.48
(エ) 最安値	12,518.78	13,283.02	13,868.84	14,101.17
(7) 貿易 (単位：百万ドル，出所：DANE)	11/8	12/6	12/7	12/8
(ア) 輸出額 (FOB)	4,965.2	4,621.9	4,693.5	4,589.1
(イ) 同 年内累計	37,039.7	30,368.4	35,069.9	39,873.6
(ウ) 輸入額 (FOB)	4,524.3	4,812.8	4,907.6	4,894.5
(エ) 同 年内累計	33,466.8	27,431.7	32,339.4	37,233.8
(8) 労働者送金 (単位：百万ドル，出所：中央銀行)	11/8	12/6	12/7	12/8
	377.3	328.7	335.6	352.0
(9) ガソリン価格 (単位：ペソ，出所：鉱山・エネルギー省)	11/10	12/8	12/9	12/10
注：ボゴタのレギュラーガソリン1ガロン当たり	8,536	8,708	8,834	8,910
(10) 自動車販売台数 (単位：台，出所：FENALCO社)	11/9	12/7	12/8	12/9
(ア) 単月	28,883	26,105	25,662	22,492
(イ) 年内累計	242,399	186,936	212,598	235,090

(了)